

文教警察企業常任委員会資料

令和8年4月24日

宮崎県警察本部

1	幹部職員名簿	
	警察本部長、各部長等	3
	課長等	4 - 5
2	宮崎県警察の組織	6
3	宮崎県公安委員会	7
4	警察本部各部の主な所掌事務	8
5	令和8年運営方針・運営重点	9
6	警察予算の内訳	10
7	令和8年度当初予算	11 - 12
8	治安情勢等	
	犯罪情勢	13 - 14
	交通事故情勢	15 - 16

1 宮崎県警察幹部職員名簿

警察本部長、各部長等

職 名	氏 名	
警察本部長	たかい よしひろ 高井 良浩	*
警務部長	ますだ ひでき 益田 英輝	*
生活安全部長	みき けんじ 三木 健次	*
刑事部長	むかえ しゅうじ 迎 修二	*
交通部長	おくの ひとし 奥野 仁	*
警備部長	やなぎた けんいち 柳田 憲一	*
警務部参事官兼首席監察官	みずぐち けいじ 水口 圭二	*
生活安全部サイバー戦略局長	とまつ しゅんじ 戸松 俊二	*
警察学校長	かい よしかつ 甲斐 義勝	

常任委員会執行部・・・*

1 宮崎県警察幹部職員名簿

課長等

警 務 部

総務課長	牧田 幸二	*
県民広報課長	林田 啓行	
会計課長 (警務部参事官)	池田 健二	*
施設装備課長	中野 義昭	
情報管理課長	平本 寛	
総合管理課長	白石 晴俊	*
警務課長 (警務部参事官)	末永 正	*
監察課長	森山 かおり	
厚生課長	江藤 之重	

生活安全部

生活安全少年課長 (生活安全部参事官)	郷之原 実	
人身安全対策課長	松下 吉晴	
地域課長 (生活安全部参事官)	岩田 浩幸	
通信指令課長	疋田 知一	
生活環境課長	田尻 悦生	*
サイバー戦略局	サイバー企画課長 (生活安全部参事官)	仙頭 雅弥
	サイバー捜査課長	サイバー企画課長 兼務

刑 事 部

刑事企画課長 (刑事部参事官)	西丸 日出男	
捜査第一課長	水増 勝二	
捜査第二課長	福原 賢治	
組織犯罪対策課長	新名 宏光	
鑑識課長	橋本 秀樹	
科学捜査研究所長	早瀬 治	

常任委員会執行部・・・*

1 宮崎県警察幹部職員名簿

課長等

交 通 部		
交通企画課長 (交通部参事官)	安武 年親	
交通指導課長	野間 剛士	
交通規制課長	落合 亜紀子	*
運転免許課長	野崎 隆	*
交通機動隊長	谷口 賢一	
高速道路交通警察隊長	宮戸 公一	

警 備 部		
警備第一課長 (警備部参事官)	松浦 弘国	
警備第二課長	本田 敏郎	
外事課長	松尾 工	
国スポ・障スポ 警備対策課長	榎木 幸史	
機動隊長	伊東 征二	

警 察 署		
宮崎北警察署長	河野 博之	
宮崎南警察署長	中武 泰博	
日南警察署長	山崎 陽一	
串間警察署長	新村 正嗣	
都城警察署長	田中 宏光	
小林警察署長	後藤 泰三	
えびの警察署長	羽田 貴一	
高岡警察署長	長友 博志	
西都警察署長	黒田 雄一郎	
高鍋警察署長	澤田 信也	
日向警察署長	小野 哲也	
延岡警察署長	寺田 健一	
高千穂警察署長	阪本 哲司	

常任委員会執行部・・・*

2 宮崎県警察の組織

宮崎県公安委員会

宮崎県警察本部



松山委員長
(1期目：R6. 11～)



山下委員
(2期目：R5. 8～)



佐々木委員
(1期目：R7. 8～)



警察署



警察学校



(警察学校卒業式)



(拳銃射撃訓練)



(警察本部庁舎)



(宮崎北警察署)



(宮崎南警察署大坪交番)



(宮崎北警察署平和が丘駐在所)

交番 51施設

駐在所 88施設

【定員】	
警察官	2,034人
警察官を除く署員	321人
	⇒ 2,355人
【女性職員】	
(警察官)	253人
(警察官を除く職員)	160人

3 宮崎県公安委員会

公安委員会制度

公安委員会制度は、国民の良識を代表する者によって構成される合議制の機関が警察の管理を行うことで、警察の民主的運営と政治的中立性を確保することを目的としている。

国については国家公安委員会を置いて警察庁を管理し、都道府県については都道府県公安委員会を置いて都道府県警察を管理することとされている。

宮崎県公安委員会の組織

宮崎県公安委員会は、3人の非常勤の委員によって組織されており、委員は知事が議会の同意を得て任命している。

公安委員の任務

○ 警察の管理

都道府県公安委員会は、管内における事件、事故、災害の発生状況等を踏まえた警察の取組、組織や人事管理の状況等について、定例会議の場等で、警察本部長等から報告を受け、これを指導することにより、都道府県警察を管理している。

○ 公安委員会の権限

都道府県公安委員会は、法律の規定に基づき、運転免許、交通規制、犯罪被害者等給付金の裁定、古物営業等の各種営業の監督等、国民生活に関わりのある数多くの行政事務を処理している。

4 警察本部各部の主な所掌事務

<p>警 務 部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報に関する事。 ○ 予算、決算及び会計に関する事。 ○ 人事、定員、給与及び警察装備に関する事。 ○ 監察に関する事。 ○ 警察教養に関する事。 ○ 福利厚生に関する事。
<p>生活安全部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪、事故その他の事案に係る市民生活の安全と平穩に関する事。 ○ 少年の非行防止に関する事。 ○ ストーカー、DV対策に関する事。 ○ 地域警察に関する事。 ○ 110番通報等の緊急通報の受理に関する事。 ○ 風俗営業、質屋営業、古物営業等の許可等及び指導取締りに関する事。 ○ サイバー事案の防止対策、犯罪捜査に関する事。
<p>刑 事 部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 凶悪犯（殺人、強盗など）、粗暴犯（暴行、傷害など）、窃盗犯の捜査に関する事。 ○ 偽造、贈収賄、詐欺、背任、横領その他の知的犯罪的犯罪の捜査に関する事。 ○ 暴力団等に係る犯罪の取締りに関する事。 ○ 麻薬、覚醒剤その他の薬物、銃器犯罪に関する取締りに関する事。 ○ 犯罪鑑識及び科学捜査の研究に関する事。
<p>交 通 部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全教育及び地域交通安全活動に関する事。 ○ 道路交通関係法令違反の指導取締りに関する事。 ○ 交通事件及び交通事故に係る犯罪の捜査に関する事。 ○ 交通安全施設の整備及び管理に関する事。 ○ 運転免許に関する事。
<p>警 備 部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害警備に関する事。 ○ 警衛・警護に関する事。 ○ 国際テロリズムその他外国人に係る警備犯罪の取締りに関する事。

運営方針

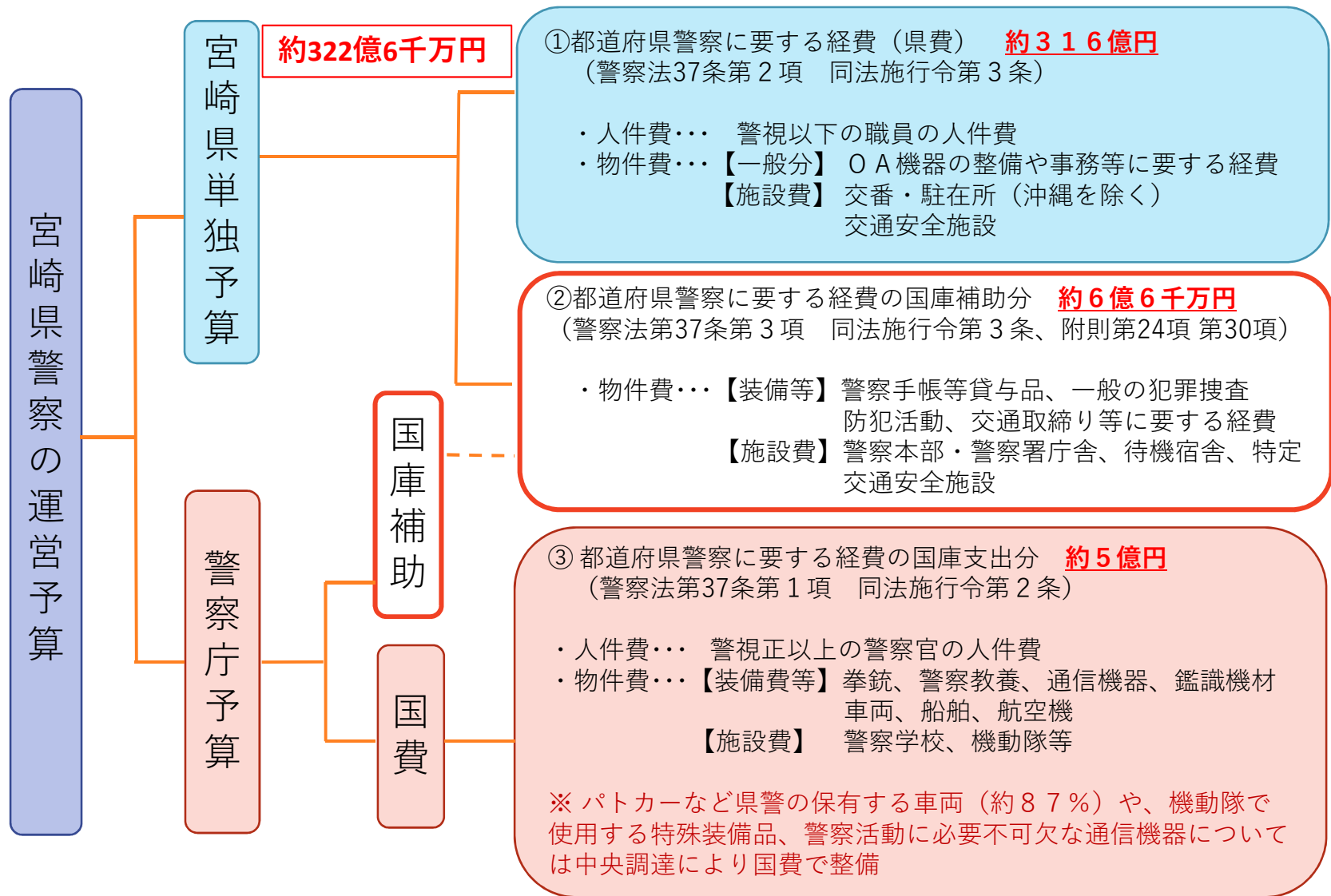
県民の期待と信頼に応える強くしなやかな警察

～安全で安心な宮崎をめざして～

運営重点

- 子供・女性・高齢者を守る取組と特殊詐欺等の犯罪防止対策の推進
- サイバー空間の脅威に対する総合対策の推進
- 重要犯罪の徹底検挙と組織犯罪対策の推進
- 交通事故の抑止と安全で快適な交通社会の実現
- 災害、テロ等緊急事態への的確な対処と警護の万全
- 県民の立場に立った警察活動の推進と社会の変化に適応する警察
基盤の整備

6 警察予算の内訳



7 令和8年度当初予算（宮崎県警察の支出する予算）

概要

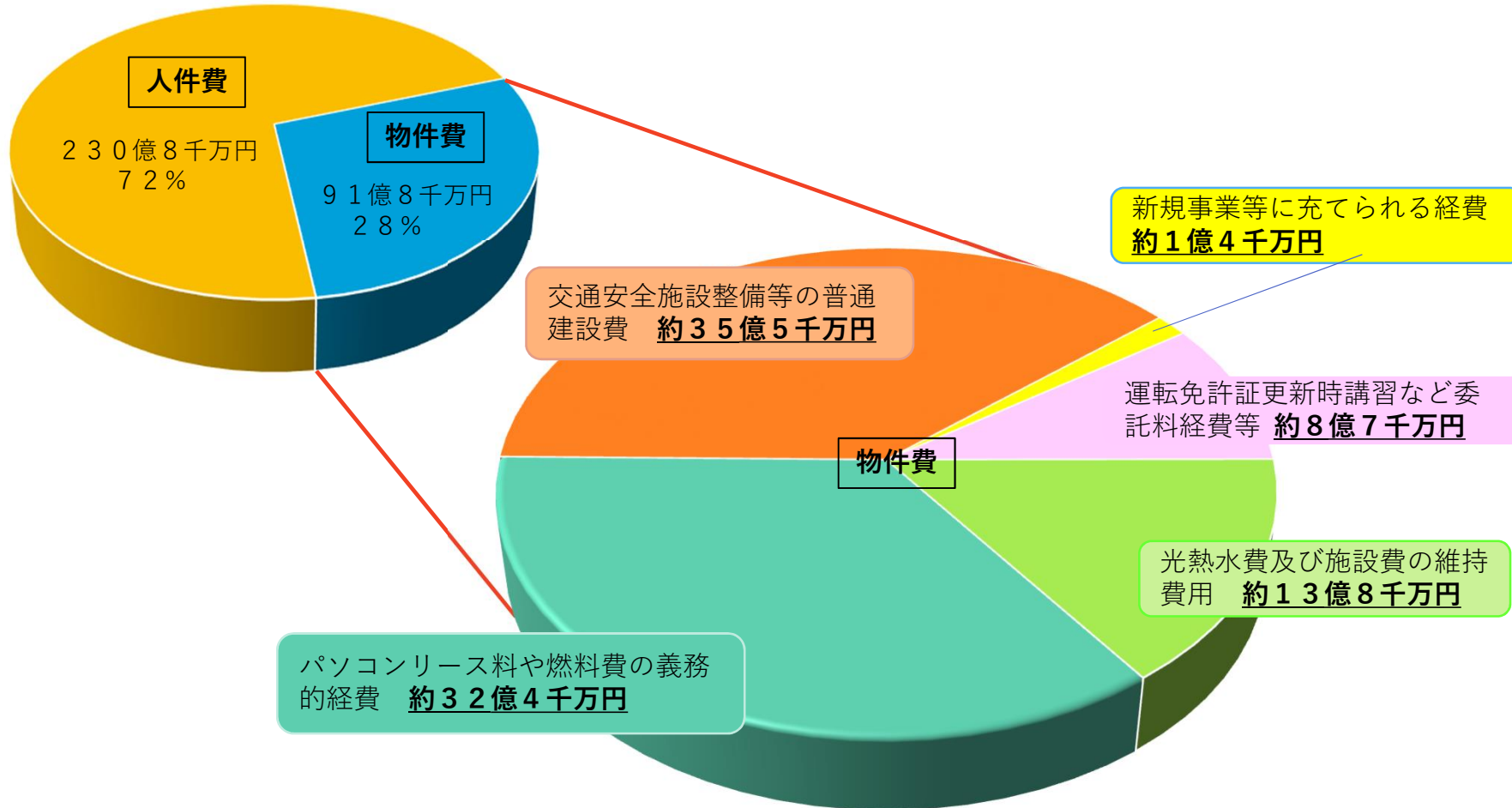
区分	令和8年度当初	令和7年度当初	増 減
総 額	322億6,082万4千円	301億 982万1千円	+ 21億5,100万3千円 (+ 7.1%)
人件費	230億7,808万1千円	217億7,001万2千円	+ 13億 806万9千円 (+ 6.0%)
物件費	91億8,274万3千円	83億3,980万9千円	+ 8億4,293万4千円 (+10.1%)

令和8年運営方針に係る予算

- 子供・女性・高齢者を守る取組と特殊詐欺等の犯罪防止対策の推進 2億9, 054万8千円
- サイバー空間の脅威に対する総合対策の推進 2, 488万3千円
- 重要犯罪の徹底検挙と組織犯罪対策の推進 4億6, 653万8千円
- 交通事故の抑止と安全で快適な交通社会の実現 25億2, 169万1千円
- 災害、テロ等緊急事態への的確な対処と警護の万全 7, 713万3千円
- 県民の立場に立った警察活動の推進と
 社会の変化に適応する警察基盤の整備 4億5, 995万6千円

7 令和8年度当初予算 (宮崎県警察の支出する予算)

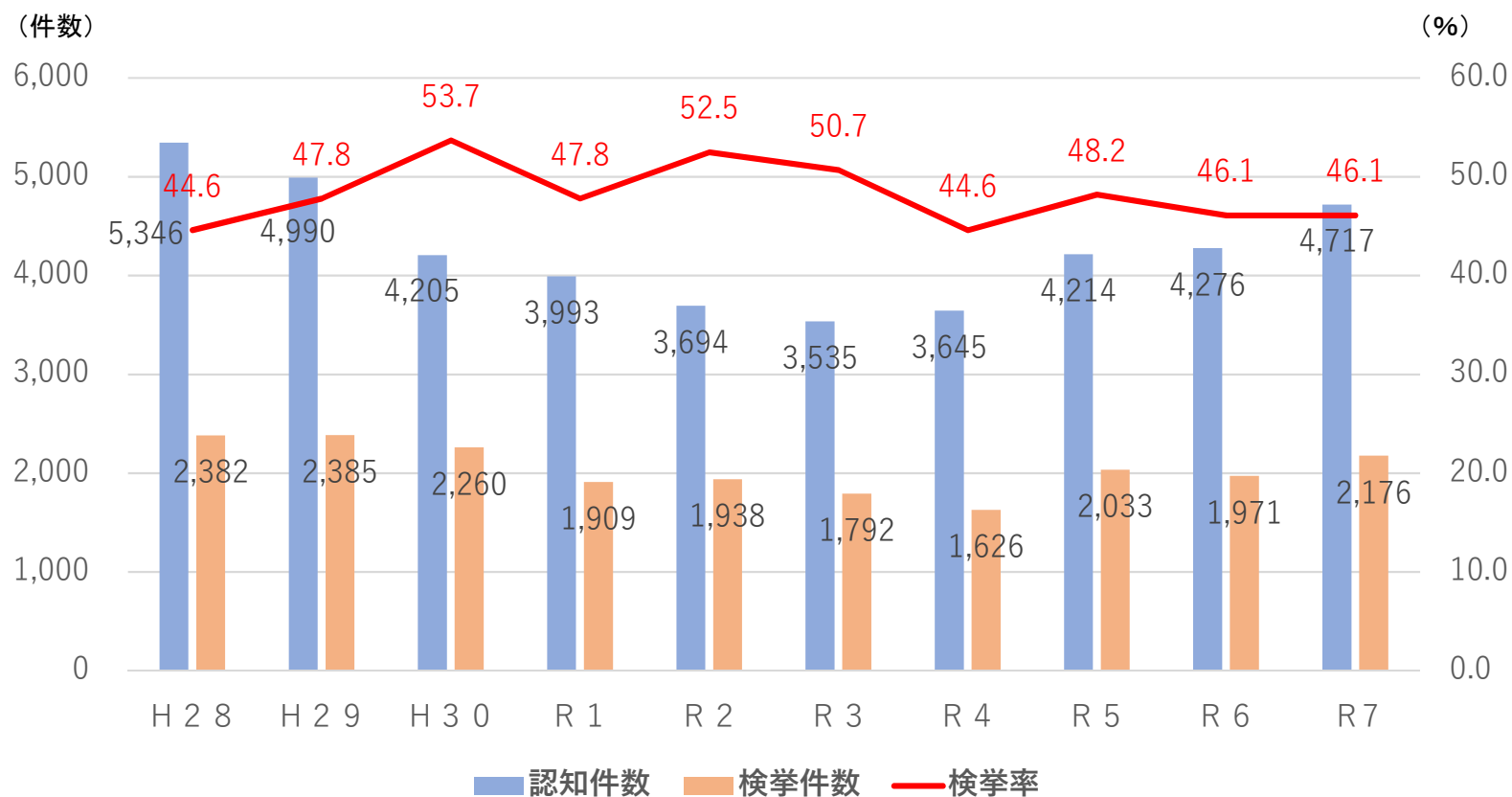
宮崎県警察予算 322億6千万円



○ 犯罪情勢

(1) 刑法犯認知件数・検挙件数・検挙率の推移

- ・ 刑法犯認知件数は、令和3年までは減少傾向にあったが、令和4年に増加に転じ、令和7年も増加(+441件、+10.3%)した。
- ・ 自転車盗難被害が全体の約28% (1,338件) を占めている。



○ 犯罪情勢

(2) 令和7年の主な特徴

特殊詐欺等の発生状況

○特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の合計

被害件数：173件（+18件）
被害額：約13億7,892万円（+約2億7,734万円）

・特殊詐欺

被害件数：98件（+24件）
被害額：約3億9,007万円（+約1億8,773万円）

【被害の多い手口】

架空料金請求：43件（-5件）、約4,996万円（+約366万円）
オレオレ：39件（+18件）、約3億1,357万円（+約1億7,280万円）

・SNS型投資・ロマンス詐欺

被害件数：75件（-6件）
被害額：約9億8,885万円（+約8,961万円）

【手口】

投資：40件（-20件）
被害額：約5億8,078万円（-約8,962万円）
ロマンス：35件（+14件）
被害額：約4億808万円（+約1億7,924万円）

特殊詐欺等対策



【地域警察官による特殊詐欺等撃退ローラー作戦】



【自動車教習所等での啓発等動画放映】



【金融機関、コンビニとのマイスター研修会の状況】

自転車盗難の発生状況

○被害件数：1,338件（+122件）
※刑法犯認知件数（4,717件）全体の28%

・主な被害場所

駐輪場：473件（35.4%）
アパート等：402件（30.1%）

・被害者の区分

高校生：579人（43.3%）
中学生：162人（12.1%）
小学生：47人（3.5%）
その他：550人（41.1%）

・施錠状況

施錠せず：1,045件（78.1%）
施錠あり：293件（21.9%）

自転車盗難対策



【自転車盗難防止モデル校の指定】

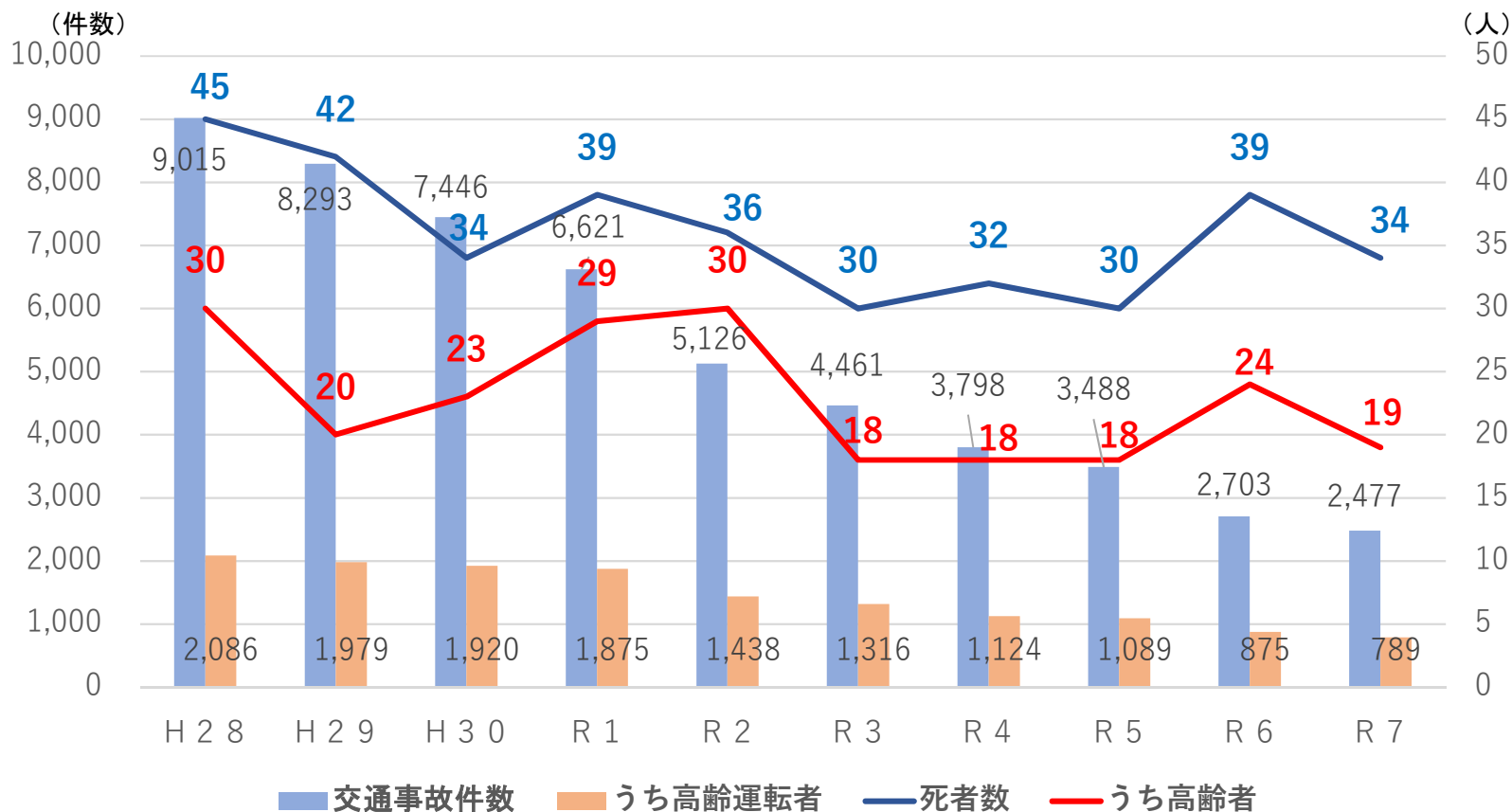


【駐輪場における施錠状況の点検】

○ 交通事故情勢

(1) 交通事故発生件数・死者数の推移

- ・発生件数は2,477件（前年比－226件、－8.4%）で、過去最多であった平成22年（11,000件）以降で最少を更新した。
- ・死者数は34人（前年比－5人、－12.8%）で、高齢者の割合が8年連続で5割を超えた。



○ 交通事故情勢

(2) 令和7年の主な特徴

・交通死亡事故の特徴

死者数	歩行中死者数	年代別死者数	高齢運転者事故による死者数	飲酒運転事故による死者数
34人 (-5人)	10人 (29.4%) うち高齢者4人	高齢者：19人 (55.9%) 50歳代：6人 (17.6%)	12人 (±0人)	2人 (-3人)

・負傷者の特徴

負傷者数	歩行中負傷者	年代別負傷者	重傷者	軽傷者
2,749人 (-258人)	202人 (7.3%) うち高齢者75人	高齢者：517人 (18.8%) 40歳代：516人 (18.8%)	208人 (-25人)	2,541人 (-233人)

・交通人身事故の特徴

事故件数	発生場所	事故類型	第1当事者の年代	事故原因
2,477件 (-226件)	交差点及びその付近 1,239件 (50.0%)	追突：911件 (36.8%) 出合頭：608件 (24.5%)	高齢者：791件 (31.9%) 20歳代：412件 (16.6%)	脇見、安全不確認等 1,397件 (56.4%)

(3) 交通事故抑止対策

歩行者保護対策



【モデル横断歩道の指定】



【モデル横断歩道における違反取締り】

秋の全国交通安全運動実施中 ↔ 横断歩道は歩行者優先 車は停止！

【道路に設置している交通情報板を活用した広報啓発】



【反射材の配布】

高齢運転者対策



【制限運転宣誓状況】



【動画KYTを使った交通安全教室】